

科目名	デザイン論 1						年度	2025	
英語科目名	Design theory 1						学期	前期	
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	長沼みか	教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリアデザイナー		

**【科目の目的】**

- ・ 商業におけるデザイナー（インテリア）の役割を探求することができる
- ・ 基礎～実践レベルへのデザインの考え方を身につける
- ・ インテリアコーディネーター資格試験の問題を解くための知識を習得する
- ・ インテリアにおける専門用語を覚え、使用できるようになる
- ・ 人体寸法や人間工学を理解し、今後の課題に取り入れることができるようになる

**【科目の概要】**

インテリアを構成する要素(エレメント・素材)について学ぶ

**【到達目標】**

- A：知識力/デザインの基礎知識とビジネスの基礎知識を身につける  
 B：社会性/ビジネスの現場に必要なスキルを身につける  
 C：遂行力/プレゼンテーションや企画書の作成など制作時間と提出期日を考慮して課題提出ができる

**【授業の注意点】**

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。遅刻、欠席をすると内容についていけないため、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中メモを取り、わからないことは質問すること。復習の習慣を身に付けること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	デザインの歴史や理論を独自に解釈し、デザインの可能性を新たな視点で切り拓くことができる		デザインの歴史や理論を深く理解し、デザインの可能性を新たな視点で探求することができる		デザインの歴史や理論の概要を理解したが、デザインの可能性を探求するまでに至らない
到達目標 B	主体的に授業参加し、インテリアエレメントについて丁寧に説明できる		インテリアエレメントについて言語化して説明することができる		インテリアエレメントについて言語化して説明することができない
到達目標 C	デザインに対する独自の視点や批評性を持って、新たなデザインを考え出すことができる		ザインの思考力や表現力を身につけることで、デザインの可能性を広げることができる		デザインの思考力や表現力を身につけたが、デザインの質を向上させることができない

**【教科書】**

インテリアコーディネーターハンドブック総合編（上・下）

**【参考資料】**

課題ごとに資料を用意する

**【成績の評価方法・評価基準】**

課題80% 提出された課題を総合的に評価する  
 平常点20% 授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		デザイン論 1			年度	2025			
英語表記		Design theory 1			学期	前期			
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価			
1	ガイダンス	授業について理解する	1	自己紹介	自己紹介ができる	2			
			2	授業の流れの確認	インテリアデザインの概要を理解する				
2	家具①	家具の特性を理解する	1	リビング	リビングの家具の特性を理解する	2			
			2	ダイニング	ダイニングの家具の特性を理解する				
			3	寝室	寝室の家具の特性を理解する				
3	家具②	家具の特性を理解する	1	構造	家具の構造を理解する	2			
4	家具③	家具の特性を理解する	1	木材	木材の特性を理解する	2			
5	家具③	家具の特性を理解する	1	金属	金属の特性を理解する	2			
			2	プラスチック	プラスチックの特性を理解する				
6	家具④	家具の特性を理解する	1	仕上げ	素材の仕上げを理解する	2			
			2	メンテナンス方法	素材別のメンテナンス方法を理解する				
7	校外見学(IFFT)	IFFTを見学する	1	校外見学	最新のインテリアデザイン業界に触れる	2			
8	ウィンドウトリートメント①	ウィンドウトリートメントの特性を理解する	1	カーテン	ファブリックの種類と特性を理解する	2			
					カーテンのスタイルを理解する				
9	ウィンドウトリートメント②	ウィンドウトリートメントの特性を理解する	1	ロールスクリーン	ロールスクリーンのスタイルを理解する	2			
					2			ブラインド	ブラインドのスタイルを理解する
10	カーペット	カーペットの特性を理解する	1	カーペット	カーペットの種類と特性を理解する	2			
11	日本のインテリアの歴史①	古代～書院造の日本のインテリアの歴史を理解する	1	古代のインテリア	古代のインテリアを理解する	2			
					2			寝殿造のインテリア	寝殿造のインテリアを理解する
					3			書院造のインテリア	書院造のインテリアを理解する
12	日本のインテリアの歴史②	数寄屋造～近代の日本のインテリアの歴史を理解する	1	数寄屋造のインテリア	数寄屋造のインテリアを理解する	2			
					2			近世の住まい	近世の住まいを理解する
					3			近代のインテリア	近代のインテリアを理解する
13	西洋のインテリアの歴史①	古典～ゴシックの西洋のインテリアの歴史を理解する	1	古典のインテリア	古典のインテリアを理解する	2			
					2			ビザンチン・イスラム様式	ビザンチン・イスラム様式を理解する
					3			ロマネスク・ゴシック様式	ロマネスク・ゴシック様式を理解する
14	西洋のインテリアの歴史②	ルネサンス～モダニズムの西洋のインテリアの歴史を理解する	1	ルネサンス・バロック様式	ルネサンス・バロック様式を理解する	2			
					2			ロココ・ネオクラシシズム様式	ロココ・ネオクラシシズム様式を理解する
					3			モダニズム	モダニズムを理解する
15	授業のまとめ	授業のふりかえり	1	試験内容まとめ	授業を振り返り要点をまとめることができる	1			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった  
備考 等